

セーフティ近畿

大規模災害時に備えた防災機能が強化され、安全・安心な都市基盤を確立します。

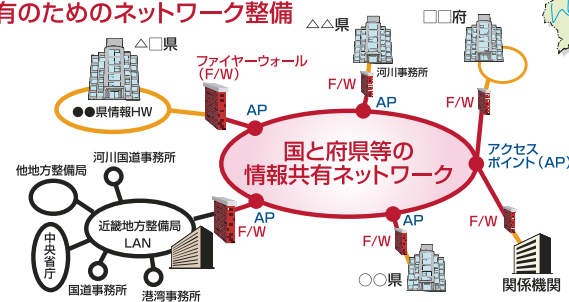
1 国・自治体・関係機関の連携を強化して防災能力を高める

関係機関が一層連携した総合的な取り組み

関係機関が一層連携して情報を共有し、初動時の協力体制、広域防災拠点のあり方等について具体的な検討を進めています。

自治体や関係機関との情報共有のためのネットワーク整備

災害時の危機管理情報の共有化、日常の河川・道路・港湾等の情報サービスの高度化を目指し、自治体や関係機関との光ファイバーによるネットワーク設備を推進。平成18年度は、近畿の府県・政令市（堺市除く）との光ファイバー接続を完了しました。



関係機関の連携した防災訓練による防災対応能力の向上

防災対応能力の向上と関係機関のより一層の連携強化を目指し、継続的な防災訓練の実施を推進します。

兵庫県（阪神地区及び淡路地区）にて「地震・津波防災訓練」を実施します



平成18年度大阪地区津波防災総合訓練

平成19年度の事業計画

- ・関係機関とのネットワーク接続、高速大容量の光ファイバー網を活用した映像情報の共有など情報コンテンツの充実を図ります。
- ・兵庫において、地震津波訓練を実施します。（芦屋市芦屋浜他）

2 IT技術を活用して積雪時に安全な道路交通を確保する

雪に強い地域づくり

冬季における交通確保のための対策（福井）

省エネや環境に配慮した消融雪設備を整備しています。また、ITS技術の活用のほか、平成18年度より豪雪時には道路管理者と公安委員会による「福井県冬期道路情報連絡室」を開設し情報の一元化を図るなど、報道機関等を通じて主要幹線道路の道路状況等を随時提供する取り組みを行っています。



平成19年度の事業計画

冬季の交通事故の軽減を目指した整備、わかりやすい道路情報の提供等を行っています。



融雪水リサイクル型散水融雪設備
(国道8号福井バイパス下荒井高架線)



吸収式ヒートポンプ型融雪設備
(国道8号敦賀バイパス余座高架線)

3 臨海部の人口集積地を高潮被害から守る

臨海高潮浸水対策の推進

人口・資産が集積する臨海部は、絶えず高潮災害の危険性があることから、ソフト・ハード対策の一体で浸水対策を重点的に推進します。

ソフト対策／チャート式耐震診断システムの推進

護岸・堤防等の約7～8割の耐震性が確認できていないことから、地震に対する変形を簡単に評価できる「沿岸構造物のチャート式耐震診断システム」を開発しました。

ハード対策／神戸港臨海部の高潮対策

国や神戸市などによる「神戸港高潮対策検討会」を設置するなど、関係機関が協力して高潮対策を推進。防潮堤や下水道による雨水ポンプ場・雨水遮集幹線の建設等の高潮対策を進めています。



神戸港海岸防潮堤整備状況

ハード対策／大阪港海岸の高潮対策

大阪港海岸において、都市直下型の大規模地震に耐え得るよう、堤防の耐震強化を実施しています。

平成19年度の事業計画

チャート式耐震診断システムを活用し、護岸・堤防等の耐震性評価を行うとともに、大阪港、神戸港等において高潮対策を推進していきます。

4 沿岸部の防災対策の充実・強化

施設の改良による防災機能の強化

河川事業

- ・淀川大堰耐震対応・・・淀川
- ・防潮堤補強・・・西大阪地域（安治川・木津川・尻無川・住吉川）
- ・護岸・水門補強・・・泉州地区（芦田川水門他）

道路事業

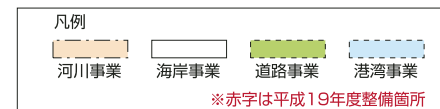
- ・「道の駅」の防災拠点・・・道の駅「志原海岸」
- ・緊急輸送道路の整備・・・一般国道42号那智勝浦道路

港湾事業

- ・耐震強化岸壁・・・大阪港、堺北港、神戸港、尼崎西宮芦屋港
- ・防災拠点緑地の整備・・・大阪港、新宮港

海岸事業

- ・護岸、堤防の高上げ・・・神戸港海岸、堺北港海岸、阪南港海岸
- ・堤防等の耐震化・・・大阪港海岸、堺北港海岸、家島港海岸
- ・陸閘等の電動化・・・大阪港海岸、尼崎西宮芦屋港海岸、福良港海岸



平成19年度の事業計画

沿岸部では、水門等の遠隔監視・操作化、水門自動急閉装置の整備や港湾施設の耐震強化、防災緑地の整備などを推進します。

